

NYマーケットレポート (2022年3月16日)

2022年3月16日(水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	25,762.01	+415.53	-10.52%	USD/JPY	118.71	119.12	118.18
ハンセン指数	20,087.50	+1672.42	-14.15%	EUR/JPY	131.01	131.05	129.54
上海総合	3,170.71	+106.75	-12.89%	GBP/JPY	156.06	156.11	154.23
韓国総合	2,659.23	+37.70	-10.69%	AUD/JPY	86.56	86.61	85.03
豪ASX200	7,175.24	+77.79	-3.62%	EUR/USD	1.1036	1.1047	1.0950
シンガポールST	3,290.90	+54.86	5.35%	BRL/JPY	23.255	23.274	22.717
インドSENSEX	56,816.65	+1039.80	-2.47%	RUB/JPY	1.175	1.175	1.006

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,291.68	+115.98	-1.26%	NY GOLD	1,909.20	-20.50	4.41%
仏CAC40	6,588.64	+233.64	-7.89%	NY 原油	95.04	-1.40	26.37%
独DAX	14,440.74	+523.47	-9.09%	CBOTコーン	730.00	-28.00	23.05%
スペインIBX35	8,380.40	+144.30	-3.83%	CRB指数	280.575	-0.775	20.74%
イタリアFTSE MIB	24,284.85	+784.99	-11.20%	ドル指数先物	98.618	-0.479	3.08%
トルコ・イスタンブール100	2,088.80	+9.42	12.44%	VIX指数	26.67	-3.16	54.88%
ロシアRTS	休場		#VALUE!				
南ア全株指数	73,484.30	+2856.10	-0.31%				

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	34,063.10	+518.76	-6.26%	CME Bitcoin(先物・期近)	41300	39505
S&P500	4,357.86	+95.41	-8.57%	Ripple(XRP)【BSTP】	0.788	0.766
NASDAQ	13,436.55	+487.93	-14.12%	Ethereum【BSTP】	2774.96	2623.57
				Bitcoin Cash	300.15	289.72

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	オセアニア国債利回り	本日	前日
カナダ・トロント総合	21,468.83	+280.99	1.16%	オーストラリア10年債	2.502%	2.527%
メキシコ・ボルサ指数	53,411.88	+401.86	0.26%	ニュージーランド10年債	3.175%	3.142%
ブラジル・ボベスパ指数	111,112.40	+2153.10	6.00%	日本国債利回り		
				2年債	-0.025%	-0.029%
				10年債	0.211%	0.206%
				30年債	0.910%	0.908%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	0.392%	0.332%
英国 10年債	1.630%	1.576%
フランス 10年債	0.850%	0.810%
イタリア 10年債	1.890%	1.900%
スペイン 10年債	1.340%	1.320%
米国債利回り		
2年債	1.938%	1.849%
10年債	2.185%	2.144%
30年債	2.453%	2.478%

3/17 経済指標スケジュール

- 08:50 【日本】1月機械受注
- 09:30 【オーストラリア】2月失業率
- 09:30 【オーストラリア】2月雇用者数
- 09:30 【オーストラリア】2月労働参加率
- 09:30 【シンガポール】2月輸出
- 09:30 【シンガポール】2月電子機器輸出
- 11:00 【ニュージーランド】2月非居住者国債保有率
- 14:00 【日本】2月首都圏新築分譲マンション
- 16:00 【スイス】2月貿易収支
- 16:00 【欧州】2月新車登録台数[EU-27]
- 17:00 【南アフリカ】IQ BER消費者信頼感
- 17:30 【香港】2月失業率
- 19:00 【欧州】2月消費者物価指数
- 20:00 【トルコ】政策金利
- 21:00 【英国】英中銀 政策金利
- 21:00 【英国】3月英中銀 議事録
- 21:30 【カナダ】2月住宅価格指数
- 21:30 【米国】3月新規失業保険申請件数
- 21:30 【米国】3月失業保険継続受給者数
- 21:30 【米国】3月フィラデルフィア連銀景況指数
- 21:30 【米国】2月住宅着工件数
- 21:30 【米国】2月建設許可件数
- 22:15 【米国】2月鉱工業生産
- 22:15 【米国】2月設備稼働率

3/17 主要会議・講演・その他予定

- ・日銀金融政策決定会合
- ・ラガルドECB総裁 講演

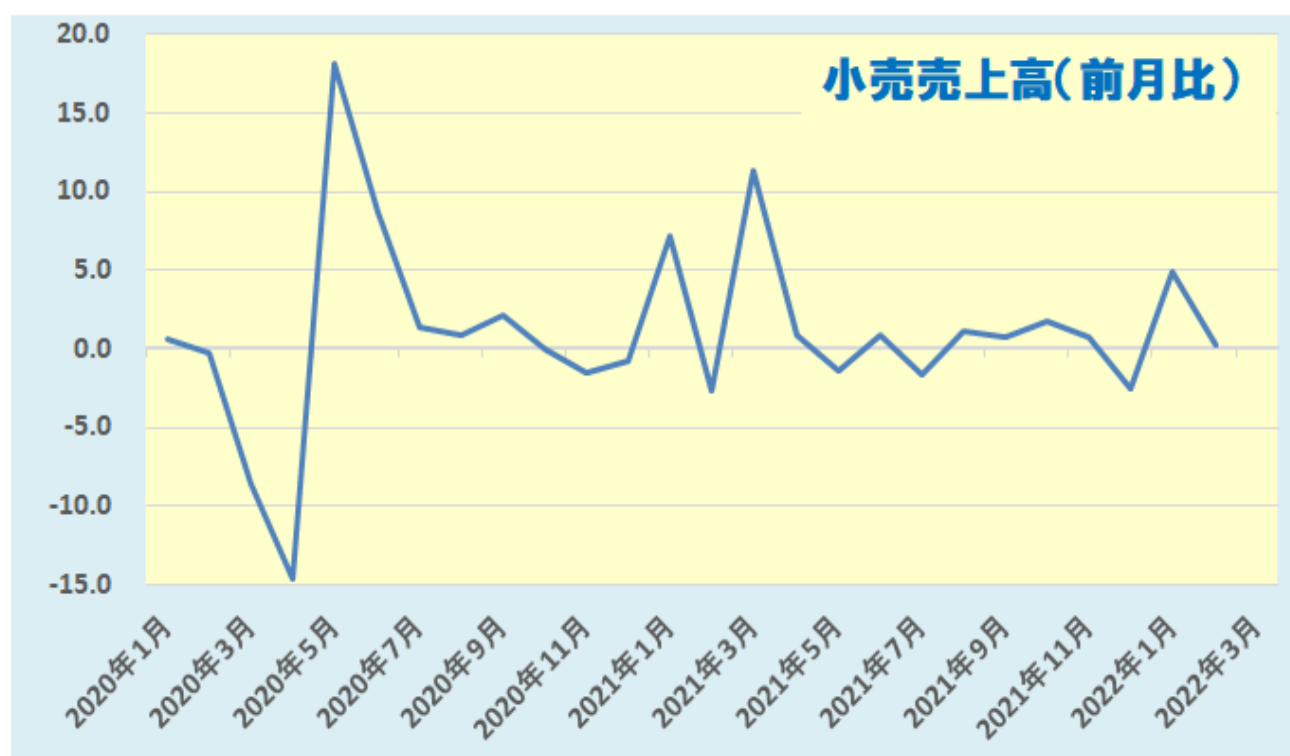
NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

2 月小売売上高（前月比） 0.3%（予想 0.4%・前回 3.8%⇒4.9%）

2 月小売売上高[除自動車] 0.2%（予想 0.9%・前回 3.3%⇒4.4%）

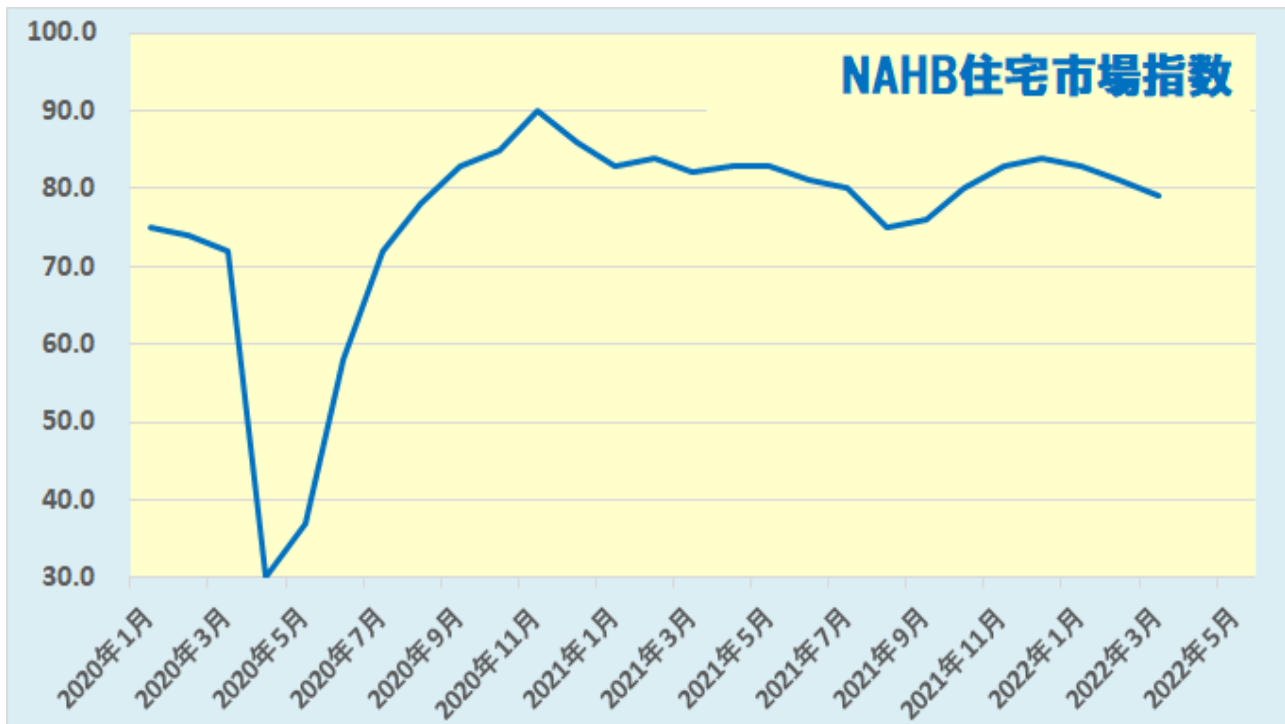
2 月の米小売売上高は、市場予想を下回ったものの、2 カ月連続のプラスとなった。さらに、前回結果も上方修正された。ガソリンスタンドが+5.3%（前月-1.7%）、スポーツ・書籍・趣味が+1.7%（-1.3%）と改善した一方、家具は-1.0%（+7.5%）、電気製品は-0.6%（+2.1%）、食品・飲料は-0.5%（+1.0%）、と低下した。また、インターネットなどの無店舗小売りは-3.7%（+20.6%）と大幅低下となった。



データを基に SBILM が作成

3月 NAHB 住宅市場指数 79 (予想 81・前回 82⇒81)

3月のNAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想を下回り、6ヵ月ぶりの低水準となった。一戸建ての販売の現状指数は86（前月89）、販売見通し指数は70（80）、見込み客足指数は67（65）となり、住宅ローン金利の上昇などを受けて販売見通しが大幅に悪化したことが影響した。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 0.25%–0.50% (予想 0.25%–0.50%・前回 0.00%–0.25%)

FOMC

- ・ FF 金利誘導目標を 0.25%引き上げ 0.25–0.50%にした
- ・ ウクライナでの紛争はインフレ圧力と景気減速につながる可能性
- ・ 0.25%の利上げ継続は適切になる
- ・ 今後の会合で資産縮小開始へ

メンバー予測中央値

- ・ 2022 年末 1.9%–2023 年末 2.8%、2024 年末 2.8%
- ・ 2022 年末のインフレ率は 4.3%、2023 年末は 2.7%

パウエル FRB 議長の主な発言

- ・ ウクライナ紛争が米経済に与える影響極めて不透明
- ・ リセッションの確率は特に高まっていない
- ・ 行動加速が適切となればそうするだろう
- ・ 金利を引き上げ、バランスシートを縮小する時期が来た
- ・ 根本的な責務は物価安定を取り戻すこと
- ・ より正常な環境に移行する時期
- ・ バランスシートの政策は早ければ 5 月に発表も

ダウ平均は3営業日続伸、ナスダック、S&P500は続伸

米株式市場では、中国の景気浮揚策への期待を背景に中国株が大幅上昇となったことや、ロシアとウクライナの停戦交渉への進展期待を受けて欧州株が上昇したことを受けて、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。しかし、FOMCで利上げが発表され、さらに利上げ継続が示されたことが嫌気され、ダウとS&Pは一時マイナス圏まで下落する場面もあった。ただ、パウエルFRB議長が「全ての兆候は米経済が強いことを示している」と発言したことを受けて、再び買いが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比531ドル高まで上昇した。しかし、FOMCの結果発表を受けて下落に転じ、一時153ドル安まで下落した。ただ、終盤には再び買いが優勢となり、518.76ドル高(+1.55%)で終了した。一方、ナスダックは487.93ポイント高(+3.77%)で終了した。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	3.02%	1	ボーイング	5.06%
2	金融	2.59%	2	ナイキ	4.85%
3	資本財	2.11%	3	セールスフォースD	4.81%
4	消費者サービス	1.61%	4	JPモルガン・チェース	4.47%
5	素材	1.31%	5	インテル	4.06%

データを基にSBILMが作成

ドル/円は2016年2月以来の119円台回復

NY市場では、FOMCを控えて様子見ムードが強まる中、中国の景気浮揚策に対する期待を受けて中国株が上昇したことや、ウクライナとロシアの停戦合意が進展するとの期待から欧州主要株価指数が上昇するなど、投資家のリスク選好の動きからドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。FOMCでは、市場の予想通り0.25%の利上げが決定されてことに加え、メンバーの金利予測では年内あと6回の利上げが示されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇となり、対円では一時119.12まで上昇し、2016年2月以来の119円台回復となった。しかし、上昇一服後に上値の重い動きとなったものの、下値は限定的だった。一方、FOMCを受けてダウ平均株価が下落に転じて一時マイナス圏まで下落したが、パウエルFRB議長が会見で「全ての兆候は米経済が強いことを示している」と発言したことを好感して再び株価が反発したことから、クロス円も堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。